

令和 2 年度

事業計画書・収支予算書

令和 2 年 4 月 1 日から
令和 3 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

令和 2 年度 事業計画

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO) は、昭和 47 年の設立以来、全国のアマチュアオーケストラとその活動に携わる人々を支援する事業を推進してまいりました。

JAO の主な事業には、「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」、「高円宮殿下メモリアル日本マスターズオーケストラキャンプ」、「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」、「トヨタコミュニティコンサート」等があります。これらのどの事業も、《音の泉の広がり》を合言葉に、全国の仲間たちが演奏する喜びを分かち合いながら、各地のアマチュアオーケストラの振興を通じて、地域社会に貢献し、音楽文化の発展に寄与するものとなっています。

また、青少年から中高年齢層までの幅広い世代を対象とした JAO の事業は、青少年教育や、シニア世代のゆとりや生き甲斐づくりに貢献し、生涯学習社会の形成に寄与することを特色としています。

令和 2 年度に実施する事業の計画は以下のとおりです。

I. 運営の部

1. 理事会

- ① 令和 2 年度第 1 回通常理事会 令和 2 年 4 月 25 日 (土) 於 上野精養軒
- ② 令和 2 年度第 2 回通常理事会 令和 3 年 2 月 27 日 (土) 於 上野精養軒

2. 社員総会

令和 2 年度定時社員総会 令和 2 年 5 月 30 日 (土) 於 上野精養軒

II. 事業の部

1. 全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は、JAO 設立の翌年 (昭和 48 年) の豊橋大会を皮切りに、毎年全国各地を巡り開催しております JAO の主要事業です。

オーケストラ音楽を愛好する人々が集い、3 日間の日程の中で演奏技術の研鑽を積み、フェスティバルオーケストラとして演奏会を開催するほか、オーケストラ運営に資するためのフォーラムや研究討議等を行います。

また、JAO はフェスティバルを国際交流の場とすることにも取り組み、海外参加者を集いアジアフェスティバルや世界フェスティバルとしての開催実績を積んでおります。

<令和2年度実施計画>

名称	2020 世界アマチュアオーケストラフェスティバル in Tokyo (第48回全国アマチュアオーケストラフェスティバル東京大会)
期間	令和2年6月5日(金)～6月7日(日)
会場	東京芸術劇場コンサートホール
内容	<p>①フェスティバルコンサート(6月7日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【特別出演】さくらこまち和楽団(一社) 日本伝統芸術国際交流協会 演目:未定 ・【歓迎演奏】JAO 東京オーケストラ 指揮:石川星太郎 コンサートマスター:佐久間聡一 曲目:塩見康史 作曲: シンフォニエッタ「ミレニアム・プレリュード」 ※JAO 委嘱作品・初演 ・【フェスティバルオーケストラA】 指揮:田部井 剛 コンサートマスター:佐久間聡一 曲目:ショスタコーヴィチ 作曲 「祝典序曲」 ヤナーチェク 作曲: 「シンフォニエッタ」 ・【フェスティバルオーケストラB】 指揮:山下一史 コンサートマスター:大宮臨太郎 曲目:マーラー 作曲 交響曲第5番嬰ハ短調 <p>②運営協議会 JAO 事業及び加盟団体の運営等に関する会議を開催</p> <p>③国際交流イベント 海外から演奏参加者20カ国40名、会議参加者30名を招へい</p> <p>a.リーダーズカンファレンス(仮称、6月6日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ(仮):連盟が組織されている各国のアマチュアオーケストラ指導者との情報共有により、互いの発展のヒントを得る。また、アマチュアオーケストラの活動後進国への支援のあり方を協議する。 <p>b.世界アマチュアオーケストラフォーラム(仮称、6月7日午前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ(仮):「音楽と社会の交響曲」～アマチュアオーケストラの価値を多様な社会とのつながりから考察する～ ・発表者(仮):コロンビア、ケニア、中国、南アジア(複数の国から奏者を構成)、ヨーロッパ連盟、及び日本の代表者

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成 12 年に第 1 回を開催した「高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ」(MOC) は、当初はシニア世代が交流を深めながら演奏技術を向上させるための研修会として開催してまいりましたが、第 12 回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することも MOC の重要な役割となりました。

第 2 回 MOC にご来臨くださいました当時の JAO 総裁 故 高円宮殿下は、MOC に格別のご関心を示されておりました。MOC の前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、MOC の名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しております。

<令和 2 年度実施計画>

名称	高円宮殿下メモリアル第 21 回日本マスターズオーケストラキャンプ
期間	令和 3 年 1 月 9 日 (土) ~ 11 日 (月・祝)
会場	京都府立府民ホール アルティ
内容	講師：井野邊大輔 (ヴィオラ・アンサンブル指導)、 三又治彦 (ヴァイオリン)、栗辻 聡 (指揮) 曲目：ヴォーン・ウィリアムズ作曲 「トマス・タリスの主題による幻想曲」 ブリテン作曲「シンプル・シンフォニー」 他 (以上予定) ※1 月 11 日に「初春コンサート」を開催

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」(TYOC) は、全国から集まった青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに演奏技術を学ぶ合宿研修会です。現在は 2 年を 1 期とし、2 年目には「日本青少年交響楽団特別演奏会」として成果を発表しています。次代を担う青少年が、プロの演奏家として第一線で活躍している講師陣の指導のもと、音楽技術の向上を図り、各自の所属するオーケストラの未来のリーダーとなるべき資質を養います。

昭和 60 年の第 1 回から昨年度の第 35 回まで、TYOC から巣立った青少年は延べ 5,900 名以上にのぼり、我が国のアマチュアオーケストラの中核を担う人材として全国各地で活躍中です。

<令和 2 年度実施計画>

名称	第 37 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期間	令和 3 年 3 月 25 日 (木) ~ 28 日 (日)
会場	香川県県民ホール レグザムホール
宿泊	香川県立屋島少年自然の家
内容	指揮：現田茂夫 講師：三浦章宏 (Vn 東京フィル) 他 16 名 (予定) 曲目：未定

4. ホームページを活用した広報活動の推進

JAO は、活動方針、年間事業、全国各地のオーケストラの活動状況、国際交流事業等、広範囲にわたる情報を収集し、ホームページにて提供しています。国内の地域活動はもちろんのこと、世界のアマチュアオーケストラに関するホームページにもリンクしています。

令和 2 年度も、会員及び提携する団体等からの情報収集に積極的に取り組み、収集した情報をホームページや Facebook にて随時広く一般に提供してまいります。

5. 国際交流活動の推進

JAO は、平成 10 年の「世界アマチュアオーケストラ連盟」(WFAO) 結成において中心的な役割を果たし、世界各国のアマチュアオーケストラの活動と交流を幅広く支援する組織として平成 19 年に設立された「認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟」(NPO-WFAO) と積極的に提携し、国際交流活動を推進しております。

令和 2 年度は、JAO の主要事業である「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」を「2020 世界アマチュアオーケストラフェスティバル in Tokyo (第 48 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル東京大会)」として開催します。このフェスティバルでは、NPO-WFAO の協力を得て、海外 20 カ国から 70 名の参加者を見込み、この内 40 名が、オーケストラ A・オーケストラ B にて、日本人参加者と共に演奏に参加する他、30 名の会議参加者に日本の運営協議会参加者を交え、「リーダーズカンファレンス」や「世界アマチュアオーケストラフォーラム」を開催し、交流を深めながら諸課題について討議します。

この他、「ドイツアマチュアオーケストラ連盟」(BDLO) と JAO との提携による交流事業として、毎年両者の主催する事業に参加者を派遣していますが、本年は BDLO が 5 月 29 日～6 月 1 日に開催する「オーケストラのためのワークショップ」(於 ドイツ連邦共和国バイエルン州ハンメルブルク) に日本から 10 名が参加します。BDLO からは前述の「世界アマチュアオーケストラフェスティバル」に、10 名の参加者を受け入れることが決定しています。

また、NPO-WFAO の協力を得て行う活動としては、前述の「世界アマチュアオーケストラフェスティバル」の他、「第 37 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」へ、アジア各国及びノルウェーから参加者 10 名以上を受け入れる予定です。

令和2年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書（正味財産増減計算ベース）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	令和2年度	平成31年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
（1）経常収益				
① 基本財産運用益	5,000	5,000	0	
基本財産受取利息	5,000	5,000	0	定期預金利息
② 受取入会金	30,000	30,000	0	
受取入会金	30,000	30,000	0	新規1会員
③ 受取会費	8,700,000	8,700,000	0	
正会員受取会費	6,750,000	6,750,000	0	135会員
賛助会員受取会費	1,950,000	1,950,000	0	23会員
④ 事業収益	16,730,000	12,776,410	3,953,590	
公1事業収益	16,730,000	12,776,410	3,953,590	入場料・参加料・広告料
⑤ 受取補助金等	17,000,000	18,108,000	▲1,108,000	
受取地方公共団体補助金	0	3,600,000	▲3,600,000	
受取民間助成金	17,000,000	14,508,000	2,492,000	トヨタ自動車、日本芸術文化振興会 他
⑥ 受取寄付金等	9,000,000	0	9,000,000	
受取寄付金	7,000,000	0	7,000,000	サーラエナジー
受取寄付金振替額	2,000,000	0	2,000,000	
⑦ 雑収益	180,000	175,160	4,840	
受取利息	0	160	▲160	
雑収益	180,000	175,000	5,000	懇親会費
経常収益計	51,645,000	39,794,570	11,850,430	
（2）経常費用				
① 事業費	49,725,000	34,314,418	15,410,582	
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0	
給料手当	3,840,000	3,840,000	0	
臨時雇用賃金	180,000	360,000	▲180,000	
法定福利費	750,000	750,000	0	
福利厚生費	8,250,000	5,998,173	2,251,827	
会議費	490,000	165,051	324,949	
旅費交通費	14,050,000	3,701,178	10,348,822	
通信運搬費	656,000	731,945	▲75,945	
消耗品費	745,000	1,006,096	▲261,096	
印刷製本費	632,000	1,249,640	▲617,640	
光熱水料費	155,000	160,000	▲5,000	
賃借料	7,870,000	9,692,726	▲1,822,726	
保険料	50,000	0	50,000	
諸謝金	8,230,000	3,113,927	5,116,073	
広報費	480,000	249,400	230,600	
雑費	467,000	416,282	50,718	

科 目	令和2年度	平成31年度	増 減	備 考
② 管理費	6,140,000	6,172,000	▲32,000	
役員報酬	720,000	720,000	0	
給料手当	960,000	960,000	0	
法定福利費	190,000	180,000	10,000	
福利厚生費	70,000	70,000	0	
会議費	670,000	670,000	0	
旅費交通費	1,400,000	1,400,000	0	
通信運搬費	280,000	280,000	0	
消耗品費	100,000	135,000	▲35,000	
印刷製本費	240,000	243,000	▲3,000	2020年度版JA0関係資料
光熱水料費	40,000	40,000	0	
賃借料	720,000	720,000	0	
保険料	5,000	6,000	▲1,000	
租税公課	250,000	248,000	2,000	
雑費	495,000	500,000	▲5,000	
経常費用計	55,865,000	40,486,418	15,378,582	
当期経常増減額	▲4,220,000	▲691,848	▲3,528,152	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
基本財産預金取崩振替額	10,000,000	0	10,000,000	
経常外収益計	10,000,000	0	10,000,000	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	10,000,000	0	10,000,000	
当期一般正味財産増減額	5,780,000	▲691,848	6,471,848	
一般正味財産期首残高	8,126,084	8,817,932	▲691,848	
一般正味財産期末残高	13,906,084	8,126,084	5,780,000	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	3,000,000	▲3,000,000	
受取寄付金	0	2,000,000	▲2,000,000	
一般正味財産への振替額	▲12,000,000	0	▲12,000,000	
当期指定正味財産増減額	▲12,000,000	5,000,000	▲17,000,000	
指定正味財産期首残高	49,400,000	44,400,000	5,000,000	
指定正味財産期末残高	37,400,000	49,400,000	▲12,000,000	
III 正味財産期末残高	51,306,084	57,526,084	▲6,220,000	

令和2年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書内訳表（正味財産増減計算ベース）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	5,000	0	5,000
基本財産受取利息	5,000	0	5,000
② 受取入会金	0	30,000	30,000
受取入会金		30,000	30,000
③ 受取会費	0	8,700,000	8,700,000
正会員受取会費		6,750,000	6,750,000
賛助会員受取会費		1,950,000	1,950,000
④ 事業収益	16,730,000	0	16,730,000
事業収益	16,730,000		16,730,000
⑤ 受取補助金等	17,000,000	0	17,000,000
受取地方公共団体補助金	0		0
受取民間助成金	17,000,000		17,000,000
⑥ 受取寄付金等	9,000,000	0	9,000,000
受取寄付金	7,000,000		
受取寄付金振替額	2,000,000		2,000,000
⑦ 雑収益	0	180,000	180,000
受取利息	0	0	0
雑収益	0	180,000	180,000
経常収益計	42,735,000	8,910,000	51,645,000
(2) 経常費用			
① 事業費	49,725,000		49,725,000
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	3,840,000		3,840,000
臨時雇用賃金	180,000		180,000
法定福利費	750,000		750,000
福利厚生費	8,250,000		8,250,000
会議費	490,000		490,000
旅費交通費	14,050,000		14,050,000
通信運搬費	656,000		656,000
消耗品費	745,000		745,000
印刷製本費	632,000		632,000
光熱水料費	155,000		155,000
賃借料	7,870,000		7,870,000
保険料	50,000		50,000
諸謝金	8,230,000		8,230,000
広報費	480,000		480,000
雑費	467,000		467,000

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
② 管理費		6,140,000	6,140,000
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		960,000	960,000
法定福利費		190,000	190,000
福利厚生費		70,000	70,000
会議費		670,000	670,000
旅費交通費		1,400,000	1,400,000
通信運搬費		280,000	280,000
消耗品費		100,000	100,000
印刷製本費		240,000	240,000
光熱水料費		40,000	40,000
賃借料		720,000	720,000
保険料		5,000	5,000
租税公課		250,000	250,000
雑費		495,000	495,000
経常費用計	49,725,000	6,140,000	55,865,000
当期経常増減額	▲6,990,000	2,770,000	▲4,220,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
基本財産預金取崩振替額	10,000,000		10,000,000
経常外収益計	10,000,000	0	10,000,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	10,000,000	0	10,000,000
当期一般正味財産増減額	3,010,000	2,770,000	5,780,000
一般正味財産期首残高	▲1,223,235	9,349,319	8,126,084
一般正味財産期末残高	1,786,765	12,119,319	13,906,084
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	▲12,000,000		▲12,000,000
当期指定正味財産増減額	▲12,000,000		▲12,000,000
指定正味財産期首残高	49,400,000		49,400,000
指定正味財産期末残高	37,400,000		37,400,000
III 正味財産期末残高	39,186,765	12,119,319	51,306,084